令和8年度 戸部本町地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

ー総括表ー

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

・地域住民が高齢となり認知症状がみられ、認知症の人とその家族が地域からの孤立、独居高齢者の閉じこもり傾向になり、生活に支障が出たり、地域の活動への参加が難しくなる場合が多く見受けられます。認知症への理解や高齢者の見守り・役割の持てる活動を地域住民・地域支援者・専門職と共有し、課題解決に向けて協働で取り組みます。
・高齢者が自分らしく、自立した生活が送れるよう、介護予防を含めた健康づくりを支援すると共に、地域活動、通いの場 への参加がつながりのきっかけとなるよう努めます。
・新築マンションの増加や生活の利便性に伴い、子育て世代や単身高齢者の転入が増えています。誰もが住みやすい地域づくりを目標に、地域団体、関係機関、企業等と連携を図り、既存の地域活動の支援や新たな活動の創設を目指します。

□ 今年度の重点的な取組

新規	継続	ー具体的な取組内容ー
□	■	チームオレンジの活動を推進する ・けあぷらdeラジオ体操に、認知症当事者が気楽に参加出来、認知症当事者が役割を持って活躍出来る場を作る。 ・在宅介護者の会「あけぼの会」と協働で開催している「わたぼうしとべとべカフェ」を認知症当事者の居場所となるよう働きかける。
□	■	身近な場所で介護予防に取り組めるように、フレイル予防講座の出前講座を5か所で開催する。
□	■	地域版広報誌「とべとべ通信」、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼ、チラシﾞ等でケアプラザの機能、自主事業、福祉・保健活動を周知するほか、LINEを活用しタイムリーに発信できるよう努める。
□	■	地域活動・サロンの充実に向け、ニーズに合わせた出張講座の開催等、サロン等の活性化を支援する。
□	■	戸部本町ケアプラザエリアとその周辺の居宅介護事業所がお互いの事業所間の交流が図れるようにサロンを開催。居宅介護支援事業が抱えるニーズ把握や必要な支援を行っていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

□ 区からのコメント